

プロモーションワークショップ実施結果

「みんなのフツーをのぞいてみよう。わたしのフツーをさがしにいこう。」

■日時

(1日目) 令和元年11月10日(日) 午後1時30分～午後4時

講演講師・ライター／編集者 吉田真緒氏

コミュニティデザイナー・Studio-L 西上ありさ氏

(2日目) 令和元年12月8日(日) 午後1時30分～午後3時30分

コミュニティデザイナー・Studio-L 西上ありさ氏

■場所

中央公民館・コミュニティセンター

■参加者

(1日目) 14人 (2日目) 11人 延べ25人

■内容

参加者は使い捨てカメラを使い、起床してから眠りに就くまでの一日を30分刻みで記録する。後日、記録した写真を用いたワークショップを行い、従来の血縁、地縁のつながりから、楽しみの中でのつながりに重点が置かれるようになってきていること、現代の家族像やライフスタイルを知り、朝霞ではどのような暮らしができるのかを確認した。

■ワークショップまとめ

【朝霞での暮らしの中の楽しみ】

- ・行きつけのお店に行く(知り合いの店、ご近所の店)
- ・手作りする(食事、おやつ、お弁当、裁縫など)
- ・適度な休息(コーヒータイム、晩酌、新聞タイム、読書タイムなど)
- ・子どもと近所の公園であそぶ(朝霞の森、滝の根公園など)
- ・多様なイベントに参加する(仲町商店会まつり、サンセットマーケットなど)
- ・都内へ気軽にお出かけする(東上線や副都心線、JR利用)

【朝霞でこんな暮らしができる】⇒顕在的・潜在的なまちの魅力

- ・移動の選択肢が多様
- ・生涯現役の働き方
- ・欠食が少ない、野菜もしっかり採れる食生活
- ・無人販売や軒先販売もできる安全・安心
- ・休息、リラックスの時間が楽しめる
- ・つながり、行きつけがある
- ・洗濯物が外で干せる
- ・多様なイベントを楽しむ